



YCS【ゆりコミュニティ・スクール】通信

第4号 令和4年3月14日発行

「第3回学校運営協議会」は、今年度、感染症拡大予防のため、残念ながら中止となりました。来年度は皆さんと一緒に学校運営協議会や学校行事が開催できることを願っています。

さて、今回のYCS【ゆりコミュニティ・スクール】通信では、地域との関わりの様子と学校運営協議会委員の皆さんの年度末アンケートをお知らせします。

小学部 鶴舞小学校との交流



小学部児童は開校以来鶴舞小学校4年生と交流をしています。9月には、鶴舞小学校を訪問して2回目の交流会を行いました。8班に分かれてしっぽ取りゲーム、的当て、ペットボトルボウリング、風船バレーなどで交流活動をしました。子ども同士で笑い合い、触れ合う姿がこちらこちらで見られ、活発な交流会になりました。これからも、地域の同年代の友達と触れ合う機会を大切にしていきたいと思います。

中学部 学校周辺の雪寄せ



総合的な学習の時間では、学校周辺の草取りや落ち葉拾い、雪寄せをしました。3学期は大雪で道幅が狭くなった学校周辺の歩道の雪寄せをしました。硬くなった雪をスコップでひたすら掘っては寄せるを続け、道幅が広くなり「歩きやすくなった」との声も。最後までやり遂げ、達成感に満ちていました。

地域の方々と直接関わる機会は少なくなりましたが、学校周辺の環境整備を通して、地域とのつながりを感じています。

高等部 Wリーグ ハーフタイムショーへの出演



高等部3年生は、これまで地域の歴史について学習を重ねながら、仁賀保太鼓伝承会や由利高校民謡部からの指導を受け、また修学旅行時の男鹿海洋高校との交流も参考に、自分たちの太鼓・民謡演奏技術を磨いてきました。

1月15・16日にナイスアリーナで行われた女子バスケットボールWリーグのハーフタイムショーに由利高校民謡部とともに出演し、熱いパフォーマンスで、観客を魅了しました。

学校運営協議会委員の年度末アンケートより

(1) 学校運営協議会の活動内容について

- ・児童生徒が学校で過ごしている様子を実際に拝見できる機会を設けていただけることで、支援学校の活動に理解が深まり身近に感じることができました。また、いろいろな立場の委員の皆様から異なった視点での御意見を伺うことで、新たな気付きがありました。自身の取組へのヒントになりましたのでこのような機会を多くの方に体験していただけたら良いと思います。
- ・ややもすれば閉鎖的になりそうな特別支援学校に地域の住民や公共施設・青年会議所の代表者など、障がいのある子どもたちの教育に直接することがない方々に、学校の教育内容や子どもたちの様子を直に見ていただくことは、とても大切なことだと思います。
- ・学校は教育目標実現のために、よく取り組んでいると思います。ただ、学校運営協議会が、先生方の負担になってないか気がかりです。学校運営協議会が先生方の負担の軽減に役立っていれば、その分授業の充実が図られ、より一層の生徒の成長が望まれるものと思います。

(2) 熟議のテーマ「障害がある人のコミュニケーション～地域生活を円滑に営むために～」について（第3回学校運営協議会で予定）

- ・障害のある人の特性について理解し合うことは大切です。ただ、どのような方法で、障がいについての理解を共有していけば良いのか、その具体的なイメージが描けずにあります。学校内では、共有しやすいですが、一歩社会に出た時、職場でどのような工夫がなされているのでしょうか。
- ・課題の多いテーマととらえております。（スマホ利用等の問題も含めて）今後も深く掘り下げてもよいのかなとも感じております。
- ・浜ノ町町内会としては、生徒さんと、教員の皆さんの冬の除雪活動には毎年町内に足を運んでもらい感謝申し上げます。コロナ禍で町民とのコミュニケーションは取りづらかったですが、生徒さんの温かい気持ちは伝わっています。
- ・学校で進めている「職業教育」で働く意欲に繋げることは大事。企業での体験学習も必要と思います。市内に障がい者の雇用の場や体験できる施設が少なく感じます。
- ・他人とのコミュニケーションを上手にとれるというのは、学校の子どもたちにとってたぶん一番難しいことではないでしょうか？学校間交流や居住地校交流などで、普段接しない人とのコミュニケーションに少しずつでも慣れてくれればと思っています。



第1回学校運営協議会



小学部授業参観



中学部パワーアップ週間見学

(3) その他（自由記述～委員として学校に関わって良かったことなど）

- ・子どもたちの目の輝きにいつもよい刺激をいただいております。障がいのある人と関わる時に、「できないこと」だけでなく「できること」「できていること」に目を向け、それを認められるようになってきました。
- ・地域の方々が多く集まる施設に勤務している者として、支援学校の皆様から参加していただける機会の創出や場所の提供について検討しております。
- ・初めて支援学校の授業や活動を見ることができました。私が思っていた以上に、生徒が生き生きと活動していることが感じられ良かったと思いました。
- ・障がい児の校内活動を知る良い機会となりました。当地域は県内他地域に比べ、障がい者の雇用率が低い現状にありますので、商工団体や企業を協議会のメンバーを参画させるのも良いかと思われまます。
- ・PTA 代表として、学校の運営方針・市の政策等を詳細に聞くことができ大変良かったと思います。もし事情が許すようなら PTA からの参加人数を増やしていただければと思います。